

滞在報告書

フランソワ・マジャンディ高校
フェソル・イネス

2月25日(火) :

日本到着の日、大阪に着いてまずは国際交流基金 関西国際センターへ。ここでは多くの外国人が日本社会にどっぷりと浸かりながら日本語を学んでおり、その生活の場を見学することができました。今回の旅程に関する簡単な説明を受け、その後は基金職員の方々と昼食を取り、この時初めて日本語で実際の会話をしました。短い時間でしたがとても実り多い会話となりました。



この後ホテルに向かい荷物をおろすとすぐに大阪の中心街、道頓堀へ。これまでに見てきた都会の雰囲気とは全く異なるものでした。

2月26日(水) :

2日目はアサンプション国際高校で一日を過ごし、日本の学校生活を垣間見ることができました。校内を見学した後、生徒たちのグループに入って書道の授業に参加。初めての経験でなかなか難しく、私の作品も良い出来栄とは言えませんでした。参加できてとても楽しかったです。グループのみんなと交わした言語や文化に関するやり取りも非常に有意義なものでした。例えば昼食のとり方や教室の掃除など、この日は日本の高校生の日常を知ることができました。またプレゼンテーションを通じて私たちの故郷（その延長でフランス全体）を日本の生徒たちに紹介する機会もありました。夜にはホストファミリーの家に行きました。



2月27日(木) :



前日校内を案内してくれた卒業生とともに、大阪から約30キロ離れた都市、奈良を訪問。東大寺では日本の伝統建築を見ることができました。寺の内部にあった迫力のある大仏は、今回の訪問で最も印象に残っています。昼食後、興福寺と五重塔を見てから、最後に国宝館を訪れました。

2月28日（金）：

翌朝、ホストファミリーと別れて京都へ。最初に訪れたのはあの伏見稲荷大社です。このスポットが人気を集める理由とも言える千本鳥居をくぐり抜けて延びる道を上りました。続いて二つ目の訪問先、あの有名な金閣寺へ。日本文化を代表する二つの歴史的建造物を実際に目の当たりにすることは何か奇妙な感じで、信じられないような気分になりました。



伝統的な食事を味わった後、午後は京都の中心街を手短に散策し、その後広く知られる茶の湯を体験しました。詳しい説明をしていただいたおかげで、最高に実り多いひとときとなりました。

2月29日（土）：

この日は、アンスティチュ・フランセ関西でプレゼンテーションをしました。昨年参加した全仏高校生日本語プレゼンテーション発表会の時に披露したものと同一内容です。私たちのプレゼンテーションで取り上げた稲畑勝太郎のひ孫にあたる方も同席され、かなり緊張しましたがこの日のことは忘れられない思い出となりました。



最後に立命館大学のミシェル・ワッセルマン特任教授にお会いし、日仏関係や両国間の相互的な影響などについて意見交換しました。このテーマに関する教授の深い知識はとても興味深く、多くの新たな知識を得ることができました。

3月1日（日）：

最終日の朝、新幹線で広島へ。まず厳島神社を訪問し、その後広島に戻り歴史の詰まった平和記念公園を訪れました。

今回の旅行は日本文化を詳しく知ると同時に、日本語上達のための機会になりました。この忘れがたい経験を通して素晴らしい出会いに恵まれました。

